

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-529992 (P2004-529992A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-038
 【出願番号】特願 2002-539432 (P2002-539432)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 33/12
 C 0 8 L 25/12
 C 0 8 L 51/08

【F I】

C 0 8 L 33/12
 C 0 8 L 25/12
 C 0 8 L 51/08

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 10 月 19 日 (2004.10.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】以下の項目：

- a) 以下のものから成るマトリクス
 - ・メチルメタクリレート 75 ~ 100 質量%
 - ・アクリレート 0.1 ~ 15 質量%
 - ・別の共重合可能な化合物 0 ~ 15 質量%
- b) 以下のものから成る別のマトリクス
 - ・スチレン 70 ~ 92 質量%
 - ・アクリロニトリル 8 ~ 30 質量%
 - ・他のモノマー 0 ~ 22 質量%

- c) PMMA シェルを有するシリコンエラストマー粒子の耐衝撃性改良剤、および
- d) アクリレートゴムをベースとする耐衝撃性改良剤

を含有する耐衝撃性 PMMA 成形体組成物において、成分 c) および d) の全体に対して、成分 c) の含量が 5 ~ 95 質量%であり、成分 d) の含量が 95 ~ 5 質量%であり、a)、b)、c) および d) の全体に対して、成分 b) を 0 ~ 45 質量%、成分 c) を 5 ~ 30 質量%、成分 d) を 1 ~ 30 質量%添加し、成形体組成物が以下の特性：

- ・ISO 306 (B50) のビカーソフトニング温度が少なくとも 95 である
- ・ISO 180 のノッチ付衝撃強さ NIS (Izod 180 / 1eA、1.8 MPa) が - 20 で少なくとも 3.0 kJ / m² であり、- 40 で少なくとも 2.5 kJ / m² である
- ・ISO 527 - 2 の弾性率が少なくとも 2000 MPa である

を有することを特徴とする、耐衝撃性 PMMA 成形体組成物。

【請求項 2】マトリクスが 90000 ~ 250000 ダルトンの平均分子量 (質量平均) を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の耐衝撃性 PMMA 成形体組成物。

【請求項 3】耐衝撃性改良剤 c) が 95 質量%までのシリコン含量を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の耐衝撃性 PMMA 成形体組成物。

【請求項４】 耐衝撃性改良剤ｃ）のＰＭＭＡシェルが、メチルメタクリレート３０～１００質量％および他の共重合可能な化合物０～３０質量％から成るポリマーを含有することを特徴とする、請求項１に記載の耐衝撃性ＰＭＭＡ成形体組成物。

【請求項５】 耐衝撃性改良剤ｃ）の一次粒度が直径１０～３００ｎｍであり、一次粒度分布が単峰性である（０．２を越えない多分散係数）ことを特徴とする、請求項１に記載の耐衝撃性ＰＭＭＡ成形体組成物。

【請求項６】 耐衝撃性改良剤ｄ）が

・コア－シェル粒子（コアはアクリレートゴムを含有し、粒度は１００～１０００ｎｍである）

・コア－シェル－シェル（Ｃ／Ｓ１／Ｓ２）粒子（Ｓ１はアクリレートゴムを含有し、粒度は１００～１０００ｎｍである）、または

・ＰＭＭＡビーズ中の微粒子アクリレートゴム（粒度は、１００～５００μｍである）

のいずれかであることを特徴とする、請求項１に記載の耐衝撃性ＰＭＭＡ成形体組成物。

【請求項７】 -４０℃まで低下させた温度であっても、ＩＳＯ１８０のノッチ付衝撃強さＮＩＳ（Ｉｚｏｄ１８０／１ｅＡ、１．８ＭＰａ）が少なくとも２．５ｋＪ／ｍ^２であり、射出成形または押出により成形体を製造するための、請求項１から６までのいずれか１項に記載の成形体組成物の使用。

【請求項８】 -１０℃を下回る温度への曝露期を伴う用途への、請求項７に記載の成形体の使用。

【請求項９】 成形体が車体のミラーハウジングまたはスポイラーであることを特徴とする、請求項８に記載の成形体の使用。

【請求項１０】 成形体がチューブまたは保護カバーであることを特徴とする、請求項８に記載の成形体の使用。

【請求項１１】 成形体が冷蔵庫の構成材料であることを特徴とする、請求項８に記載の成形体の使用。